

3 大豆の部

野菜花き試験場（旧中信農業試験場）における成績

品 種 名 (両 親 名)	奨励及び 認定品種 編入年次 育成地	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	主 茎 長 (cm)	分 枝 本 数	10a 当 子 実 重 量 (kg)	百 粒 重 (g)	品 質	耐 倒 伏 性	花 色	粒 形	種 皮 色	臍 色	紫 斑 病 (粒 性)	ウ 抵 イ ル 抗 ス 病 性	ダン チ ズ シ ス ト 抵 抗 セ 性	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
あやこがね [ホウレイ / エンレイ]	認定 平16 長野中信農試	7.27	10.6	65	5.3	391	35.0	上	強	紫	球	黄	黄	強	強	弱	早生。草丈は中程度で倒伏に強い。ダイズモザイク病に抵抗性がある。ダイズシストセンチュウに弱いので連作を避ける。蛋白質含有率はタチナガハより高く、豆腐加工適性に優れる。煮豆・味噌にも適する。	高冷地（標播） 中山間地（標播・晩播） 低暖地（晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
すずろまん [納豆小粒 / 東山系U45]	認定 平19 長野中信農試	8.3	10.11	76	10.4	371	11.6	上	中	紫	球	黄	黄	強	強	弱	中生。納豆用の小粒品種。草丈はやや長くて分枝が多く、子実が球形で外觀がよい。ダイズモザイク病に抵抗性がある。ダイズシストセンチュウに弱いので連作を避ける。播種量は普通品種の半分程度とする。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
すずほまれ [東山179号 / 東山系U24]	奨励 平28 (認定 平24) 長野野菜花き試	7.28	10.17	72	5.5	398	36.9	上	強	紫	球	黄	黄	強	強	弱	中生。長葉で草丈は中程度、強茎で倒伏に強い。多肥密植栽培で多収、大粒で良質である。ダイズモザイク病に抵抗性がある。ダイズシストセンチュウおよび黒根腐病に弱いので連作を避ける。干ばつ時の灌水や莢実害虫の防除等を適切に行い、青立ちを回避し莢数確保に努める。蛋白質含有率が高く、豆腐加工適性に優れる。味噌にも適する。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
ギンレイ [東山系N802 / スズユタカ]	奨励 平7 長野中信農試	8.1	10.18	75	6.4	388	34.8	上	強	紫	球	黄白	黄	強	強	弱	晩生。草丈は長いナカセンナリよりやや短く、倒伏に強い。やや大粒、良質で多収。ダイズモザイク病、ラッカセイわい化ウイルスに抵抗性がある。ダイズシストセンチュウに弱いので連作を避ける。蛋白質含有率は低い。豆腐の食味に優れる。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播）
ナカセンナリ [ほうじゃく / ネマシラズ]	認定 平7 (奨励 昭53) 長野農総試 中信地方試	8.2	10.19	79	8.2	394	31.4	上	中	紫	球	黄白	黄	強	中	強	晩生。草丈は長く分枝が多く多莢、中粒で良質である。ダイズシストセンチュウにやや強く、立枯性病害は少ない。センチュウ発生地では多肥密植とする。晩播でも生育量を確保しやすい。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播）
つぶほまれ [東山140号 / タチナガハ]	認定 平15 長野中信農試	7.30	10.25	76	4.9	370	45.4	上	強	紫	楕円	黄	黄	強	強	弱	晩生。草丈は長く分枝はやや少ない。倒伏に強く着莢位置が高い。極大粒で良質であり、煮豆のほか豆腐、味噌等に適する。ダイズモザイク病に抵抗性がある。ダイズシストセンチュウに弱いので適正な輪作を行う。莢数を確保するため、莢実害虫防除を励行する。	中山間地（標播） 低暖地（標播・晩播）

※耕種方法：播種基準日6月1日。栽植密度：畦幅75cm、株間14.8~16.7cm、1株1本立、800~900本/a。

※データは、平成16年~27年（すずほまれば平成19年~27年）のうち異常気象等による生育不良年を除いた平均値。

<参考：有色大豆>

野菜花き試験場（旧中信農業試験場）における成績

品 種 名 (両 親 名)	普及に移した 年次 育成地	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	主 茎 長 (cm)	分 枝 本 数	10a 当 子 実 重 量 (kg)	百 粒 重 (g)	品 質	耐 倒 伏 性	花 色	粒 形	種 皮 色	臍 色	紫 斑 病 (粒 性)	ウ 抵 イ ル ス 病 性	ダン イ ズ シ ス ト セ 性	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
玉 大 黒 〔丹波黒 ／ 東山140号〕	平9 長野中信農試	7.25	10.1	76	7.0	331	50.0	上	中	白	球	黒	黒	—	強	弱	黒豆。早生、円葉、長茎で分枝開く。ウイルス病（モザイク病）に抵抗性。極大粒で光沢弱く良質。やや倒伏しやすいので、過度の早播、密植を避け、培土を行う。シストセンチュウに弱いので適正な輪作を行う。極大粒種であるので、莢実害虫の防除を適期に行う。	高冷地（標播） 中山間地（標播・晩播） 低暖地（晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
信 濃 早 生 黒 〔農林2号 ／ 晩生光黒〕	昭59 長野中信農試	7.26	10.4	64	5.2	279	39.9	上	強	白	球	黒	黒	—	中	弱	黒豆。早生、円葉、中茎で分枝閉じ、倒伏少ない。大粒で光沢強く良質。枝豆の香りが強い。ウイルス病（モザイク病）にやや弱いので健全種子を使用し、アブラムシ防除を励行する。シストセンチュウに弱いので、適正な輪作を行う。大粒種であるので、莢実害虫の防除を適期に行う。	高冷地（標播） 中山間地（標播・晩播） 低暖地（晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
華 大 黒 〔信濃早生黒 ／ 玉大黒〕	平22 長野野菜花き試	7.26	10.6	68	6.8	308	44.3	上	強	白	扁球	黒	黒	—	強	弱	黒豆。早生、円葉、中茎で倒伏少ない。極大粒で光沢弱く良質。枝豆の香りが強い。ウイルス病（モザイク病）に抵抗性。シストセンチュウに弱いので、適正な輪作を行う。極大粒種であるので、莢実害虫の防除を適期に行う。	高冷地（標播） 中山間地（標播・晩播） 低暖地（晩播） 低暖地の積雪地域（標播）
信 濃 黒 〔黒長品11 ／ 東山50号〕	昭53 長野農総試 中信地方試	7.30	10.17	70	8.4	308	47.3	上	中	白	球	黒	黒	—	中	弱	黒豆。晩生、円葉、中茎で分枝多く、やや開く。極大粒で光沢強く良質。粒大を確保するために、遅播きはさける。ウイルス病（モザイク病）にやや弱いので健全種子を使用し、アブラムシ防除を励行する。シストセンチュウに弱いので、適正な輪作を行う。極大粒種であるので、莢実害虫の防除を適期に行う。	中山間地（標播） 低暖地（標播）
信 濃 青 豆 〔山形県在来種 から純系分離〕	昭56 長野農総試 中信地方試	7.30	10.13	78	6.9	323	37.3	上	中	紫	扁球	緑	黒	強	強	弱	青豆。中生、円葉、長茎で分枝多く、やや開く。大粒で良質。種皮色及び子葉色が緑。ウイルス病（モザイク病）、立枯性病害は少ない。シストセンチュウに弱いので、適正な輪作を行う。大粒種であるので、莢実害虫の防除を適期に行う。日光により種皮色があせるので、適期に収穫する。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播）
あ や み ど り 〔東山系 T751 ／ 東山179号〕	平20 長野中信農試	8.3	10.19	78	5.6	328	39.1	上	強	紫	扁球	緑	緑	強	強	弱	種皮色の鮮やかな青豆。晩生、長葉、長茎で着莢位置が高い。大粒で良質。種皮色、臍色及び子葉色が緑。ウイルス病（モザイク病）に抵抗性、紫斑病にも強い。シストセンチュウに弱いので、適正な輪作を行う。大粒種であるので、莢実害虫の防除を適期に行う。日光により種皮色があせるので、適期に収穫する。	中山間地（標播・晩播） 低暖地（標播・晩播）

※普及に移した年次：普及に移す農業技術として採用された年次。

※耕種方法：播種基準日6月1日。栽植密度：畦幅75cm、株間16.7cm、1株1本立、800本/a。

※データは、平成16年～24年のうち異常気象等による生育不良年を除いた平均値。

4 小豆の部

農業試験場における成績

品 種 名 (来 歴)	編入年次奨励 及び認定品種 育成地	開 花 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	分 枝 本 数	1 株 莢 数 (莢)	1 株 粒 数 (粒)	10a 当 子 実 重 量 (kg)	百 粒 重 (g)	品 質	花 色	粒 色	臍 色	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
中 納 言 〔 在来中納言 より 系統淘汰 〕	奨励 昭10 長野農試	8.21	10.21	83	6.2	32	192	103	14.6	上	黄	紅 赤	灰 白	晩生。大粒良質であるが、草丈高く、分枝数多く倒伏しやすいので多肥密植を避ける。 ウイルス病発生に注意する。	高冷地を除く県下全域

※耕種方法：播種日6月1日。

5 あわの部

野菜花き試験場（旧中信農業試験場）における成績

品 種 名 (来 歴)	編入年次奨励 及び認定品種 育成地	出 穂 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	10a 当 子 実 重 量 (kg)	千 粒 重 (g)	品 質	稈 糯 別	葉 色	耐 倒 伏 性	粒 の 整 否	粒 の 大 小	粒 色	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
しなのつぶ姫 〔 栗信濃1号 / 矮寧黄 〕	奨励 平19 長野中信農試	8.20	88	18.6	414	2.2	上	粳	緑	強	整	やや 小	黄	栗信濃1号に比べて、早生、短稈で倒伏がほとんど無い。播種は晩霜の終わる時期から7月上旬（高冷地は6月中旬）とする。施肥は、窒素で4～5kg/10aを基準として、前作物により減ずる。	県下全域
あわ信濃2号 〔 上村在来 から選抜 〕	奨励 平7 長野南信農試	8.25	127	16.8	302	2.3	上	糯	緑 紫	やや 強	整	中	黄 白	中生の早。やや短稈で「栗信濃1号」より短く、耐倒伏性も「栗信濃1号」よりやや強い。粒着は密で脱粒は難、収量は「栗信濃1号」よりやや低い。	県下全域

※耕種方法：播種日6月16日。

※データは、平成16年～18年の平均値。

6 きびの部

野菜花き試験場（旧中信農業試験場）における成績

品 種 名 (来 歴)	編入年次奨励 及び認定品種 育成地	出 穂 期 (月日)	成 熟 期 (月日)	稈 長 (cm)	穂 長 (cm)	穂 重 (g)	千 粒 重 (g)	品 質	稈 糯 別	葉 色	粒 の 整 否	粒 の 大 小	粒 色	特性並びに栽培上の注意	適応地帯
黍信濃1号 〔福島農試から 取り寄せ 系統淘汰〕	奨励 昭19 長野農試 桔梗ヶ原分場	8.17	9.27	139	38.7	12.8	5.0	上	糯	緑	整	中	黄	中生。中稈。倒伏が少なく良質である。やせ地にも適し、栽培しやすいが、早播き過ぎるとアワノメイガの害を受ける。肥料の吸肥力強く肥沃地で多収である。成熟すると脱粒し易いので注意する。	県下全域
きび信濃2号 〔天竜村在来 から選抜〕	奨励 平7 長野南信農試	8. 6	9.12	103	39.3	11.5	5.0	上	糯	緑	整	やや大	黄白	早生・短稈。粒着密度、脱粒性は「黍信濃1号」と同程度。短稈だが耐倒伏性は「黍信濃1号」と同程度。収量は「黍信濃1号」より低い。	県下全域

※耕種方法：播種日6月14日。

※データは、平成16年～18年の平均値。